

シンガポール研修

ナンヤン理工学院 (NYP) / 9日間 (9月) 約14万円



無限の可能性が 広がる海外研修

澤井 翔太 理学療法学科2年



私がこの研修に参加しようと思った当初の理由は、何となく海外に行ってみたいという思い付きのような感覚でした。しかし、事前研修を通じてシンガポールについて調べていくうちに、この場所で日本とは異なる文化や医療に触れてみたいと思う気持ちが強くなって行きました。

実際に研修では、日本という国を外から見ること、社会制度や医療制度に関して今の日本の優れている点・劣っている点をより強く感じることができました。そして私が将来やるべきことに対する視野が広がりました。

今の住み慣れた環境と違うところに身を置くことは、自らの将来のために必要なことだと思います。その一つの方法が海外研修です。大学生となり周囲からは大人として見られるこの時期に、勇気を出して一歩踏み出してみてもいいでしょうか？

「海外に行きたい」の 思いがキッカケ

島津 由佳 看護学部2年



私は一度も海外に行ったことがなく、機会があれば行ってみたいと思っていました。そんな時に海外研修のチラシを見かけ、説明会に行った事が参加のきっかけです。

研修では、シンガポールの病院・施設の見学を通して日本の医療との違いを実感できました。印象的だったのは、シンガポールでは病室が金額に応じて5段階に分かれ、エアコンやテレビがないなどサービスが異なっていたことです。中には日本の様にカーテンや壁で仕切られておらず、ワンフロアすべてが見渡せるような開放的な病室もありました。プライバシーよりも患者同士、看護師間の交流を重視しているそうです。宗教に応じて食事が分かれていたことも、シンガポールならではの文化に触れることができました。友達もたくさんできます。観光をしたり、グルメやスイーツを楽しんだりも出来ます。

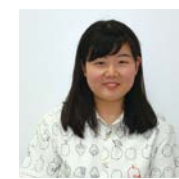
初めての海外でも安心して行けましたし、学年が上がるにつれてどんどん忙しくなるので、「少しでも行きたい！」という気持ちがあれば、ぜひ参加して欲しいと思います。



施設・病院見学

大きな一歩を 踏み出せました

吉川 実里 看護学部2年



シンガポールは観光地として人気であり、誰でも観光で訪れて楽しむことはできると思います。でも、現地の病院・施設の中まで入って詳しく見学できる機会はなかなか得られません。その意味で、今回の研修は私にとって貴重な経験となりました。

シンガポールは日本と同様に高齢化社会であり、保健医療福祉の充実が喫緊の課題となっています。国民皆保険制度の日本とは異なり、政府の支出を抑えるため「自助」に重きを置いています。そのため病院の病室は、料金別に階級に分けられていました。また、海外の最先端医療を積極的に取り入れていて、最新の医療機器が数多く導入されていました。その他、障がい者支援施設なども整っていて、障がい者の社会復帰を支えていた点が印象的でした。

今回の研修に参加して、海外に目を向ける第一歩になりました。現地に行き、その国の制度や抱えている問題、優れた点が違うのだと改めて実感することができました。



●概要 9日間という短い期間ながら、国内主要医療施設の見学だけでなく、ナンヤン理工学院の学生との合同演習体験などが含まれ、同じ専門職を目指す同世代の学生との交流が多く持てるようにプログラムが組まれています。

日程	スケジュール
1	10:30 中部国際空港発→16:20 チャンギ国際空港着 ホストファミリーと対面しホストファミリー宅へ移動
2	ホストファミリーと過ごす
3	9:00 ~ 10:00 ヘルスサイエンス学部からの歓迎とオリエンテーション→ 10:30 ~ 12:30 講義：「シンガポールの社会制度」→12:30 ~ 14:30 歓迎昼食会→ 14:30 ~ 15:45 キャンパスツアー→16:00 ~ 17:30 講義：「シンガポールの医療制度」→ホテルへ
4	10:00 ~ 11:30 施設見学：タントクセン総合病院→12:00 ~ 14:30 昼食→ 14:30 ~ 16:30 施設見学：Society for the physically disabled (障害者就労支援施設)→ホテルへ
5	10:00 ~ 12:00 施設見学：セント・アンドリュース地域病院→12:30 ~ 14:00 昼食→ 14:00 ~ 16:00 学部ごとに分かれての研修→ホテルへ
6	8:00 ~ 9:00 施設見学：Ozworks Therapy Pte Ltd (リハビリ施設)→10:00 ~ 12:00 施設見学： アジア女性福祉協会→12:15 ~ 14:00 昼食→14:00 ~ 15:00 講義：「シンガポールの経済情勢」→ 15:30 ~ 17:00 お別れパーティ、文化交流、修了書授与→ホテルへ
7	10:00 ~ 14:00 振り返りのグループワーク・発表
8	9:00 ~ 10:00 博物館見学→10:00 ~ 20:00 フリータイム→20:00 ホテルから空港へ
9	1:20 チャンギ国際空港発→ 9:05 中部国際空港着

観光・料理



シンガポールでの素敵な出会いと経験

加藤 美玖 看護学部3年

シンガポールでは、NYPの学生が様々なところに私たちを案内してくれたので、多くの有名な観光地へ行くことができました。中でも楽しかったのが、ナイトサファリやセントーサ島でした。まず、ナイトサファリでは、シンガポールで有名なチリクラブを食べました。これは、チリ、トマト等をブレンドしたピリ辛のソースの中にカニを入れてボイルした料理です。1つの料理をみんなで手で食べることは日本ではなかなか無いことなので、貴重な経験ができました。味もとてもおいしかったです。また、月明かりのような照明の演出の中、日本では見たことのない動物をたくさん見る事ができました。セントーサ島では、みんなでお菓子を持ち寄り、海でたくさん写真を撮ったりして遊びました。シンガポールの観光地は1つ1つがとても素敵で、ぜひいつかまた行きたいと思いました。



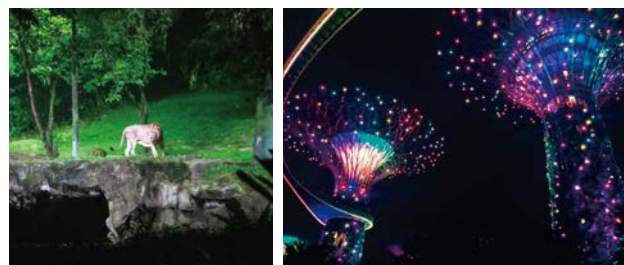
マーライオンだけじゃない！

長島 晴香 看護学部3年

シンガポールといえば、何を思い浮かべますか？シンガポールに行ったら欠かせない観光地、マーライオンの周辺の魅力を紹介します。まずは、マリーナベイサンズ。屋上が船の形のプールになっているホテルで有名です。プールの利用は宿泊者限定なのですが、一般観光客も中に入ることは出来ます。次に植物園。ここではナイトショーを見ることができます。夜の街に多くの光が放たれ、デートスポットでも人気だということです。この2つは『名探偵コナン 純黒の悪夢』のモデルになり、実際に映画に出て来ているんです！この周辺にはTSUJIRIや北海道アイスクリームなど日本でも有名なお店も並んでいました。日本人が店員のお店もあり、親しみを持つことができました。夜景を楽しむためにも、日が暮れてから観光するのがオススメです。



ホームステイ体験談



海外に素敵な友人ができました

山内 則子 看護学部3年



海外へ行く事もホームステイをする事も初めてだった私は、英語が通じるのか？ホストファミリーと仲良く出来るのか？など不安ばかりでしたが、そんな心配はすぐになりました。研修の始めの二日間はホストファミリーが色々な観光地へ案内してくれました。シンガポール・ズーは檻や柵がほとんど見当たらず、自然な状態の動物たちを間近で見ることができました。個人的に一番気に入ったガーデンズ・バイ・ザ・ベイでは、夜間の幻想的なライトアップと音楽のショーに圧倒され、飛行機の疲れが吹っ飛びました。ホストファミリーはいつも優しく話しかけてくれ、一緒に行動してたくさん会話をするうちにお互いの事を知ることができたので、一日目が終わる頃にはすっかり打ち解けました。シンガポールの文化と魅力を体感すると同時に、「下手な英語でも恐れずにコミュニケーションをとろうと努力する姿勢が、外国の人と仲良くなる為には大切だ。」と学べたホームステイでした。

中国研修

第三軍医大学（TMMU） / 9日間（3月） 約15万円



第三軍医大学（中国重慶市）は1954年創立の国立基幹大学であり、医学の他に教育学、理学、工学、戦略管理の専門分野を提供しています。また、研修病院でもある3つの附属病院を擁し、総病床数は5,000床にもおよびます。

参加者
VOICE

この経験を今後活かしていきたい

今回、中国研修に行き、中国の病院や大学を見学して、中国の医療や看護師養成制度、日本との違いなど様々なことを知る事が出来ました。また、学生交流を通して中国の友達ができ、国を越えて交流ができたことは、とても良い経験となりました。また、改めて自分の英語能力の低さが分かったので、この研修を機会に英語をより勉強したいと思います。この研修では様々なことを吸収することが出来たので、看護師として就職した時にこの経験を活かしていきたいです。

●概要 大学及び大学附属病院を中心に、講義の受講、現地学生との交流、保健医療福祉施設の訪問を通して中国の医療福祉について学びます。

日程	スケジュール
1	9:00 中部国際空港発→11:35 北京空港着 午後 施設見学：北京按摩医院→ホテルへ
2	午前 万里の長城見学→午後 天安門広場、故宮博物館見学→ホテルへ
3	午前 北京市内見学→14:30 北京空港発→17:00 重慶空港着→ホテルへ
4	終日 第三軍医大学でのプログラム 学部長・副学長からの歓迎、キャンパスツアー、 講義：「人体標本について」「中国の看護システム」、歓迎夕食会→ホテルへ
5	午前 施設見学：地域健康福祉センター→午後 英語の授業見学、学生交流会→ホテルへ
6	終日 施設見学：第三軍医大学附属西南医院（外科病棟、リハビリテーション棟、がん病棟など）、 講義：「看護ケア」→ホテルへ
7	午前 重慶市内観光（三峡博物館、磁器口）→16:30 重慶空港発→18:35 上海空港着→ホテルへ
8	11:30 上海空港発→14:40 中部国際空港着

海外英語研修



刺激いっぱいの毎日が待っています

名倉 由真 看護学部3年

私は海外で様々な出来事や人に触れ、視野を広げたいと思っていました。それを叶えるために長期休みを利用した短期留学は最適です。私はハワイに行きましたが、現地ではホームステイ先から大学へ路線バスで通い、スマホなどの機器も最低限しか使えない状態にしました。現地の人に道やバスの時間を尋ねることで積極的に英語を話す機会ができ、自分の力で行動する自信ができました。大学の授業はすべて英語でしたが、先生も優しくクラスは少人数なので英語に全く自信がなくても大丈夫です！授業後に友達とショッピングや観光をしたり、ホームステイ先では子供たちと遊んだり、毎日の出来事を話したり。とにかく毎日が刺激でいっぱい充実していて本当に楽しかったです！海外や他大学に友達ができ、日本に戻った今でも連絡を取ったり遊んだりしています！

